

型番 AE50713E・AE50715E・AE50717E

保存用

【安全上のご注意】

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2018年4月現在)

安全に関するご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。（周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合）
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-7

取説No. E102-213 KL/S・T

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
被害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

禁止

ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

禁止

ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、部品の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。

禁止

差込プラグを抜くときは必ず差込プラグを持って抜いてください。→電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。

禁止

電源コードをコンクリートや土などで埋めないでください。→電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。

禁止

最大容量W数を超えて使用しないでください。→容量を超えて使用すると器具が焼損し火災・感電・故障の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	周波数	最大入力電流	最大容量W数
AE50713E	AC100V	50/60Hz 共用	1.10A	63Wまで
AE50715E			0.76A	42Wまで
AE50717E			0.41A	21Wまで

■取付前の確認

1 部品重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付位置の確認

雨のはね返りを考慮し、地面から器具下面を30cm以上の高さに取付ける場所を確保する。

3 取付面が十分乾燥していることを確認する

部品や取付面の変色の原因になります。

4 取付ピッチ

右図は部品を取付面から見た図です。

取説No. E102-213 KL／S・T

－2－

■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

〈付属部品〉

取付ネジ・・・・・・・・・・3本

取付ピッチガイド・・・1枚

※本品はセット状態の一例です。下記の電源、タイマースイッチ、出力コネクタを任意の市販BOXや造作に組合せてご使用される場合は電気設備の技術基準に従って施工してください。
BOXサイズ(内寸)L375×W290×H70以上のものをご使用ください。

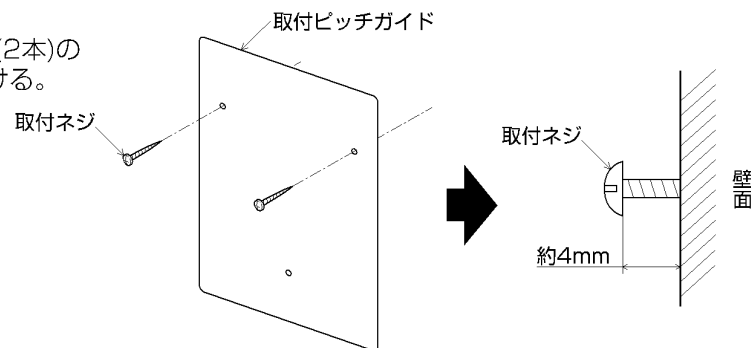
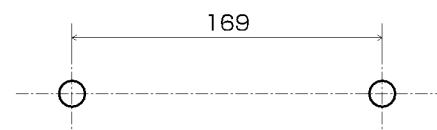
品名	最大容量W数	型番	部品サイズ
電源	63Wまで	AE48167E	L219×W63×H49
	42Wまで	AE48166E	L200×W63×H49
	21Wまで	AE49265C	L195×W51×H33
タイマースイッチ		TB-171	L123×W72×H50
出力コネクタ		WPM-202-ADF	L60×φ27 取付穴φ20

－3－

取説No. E102-213 KL／S・T

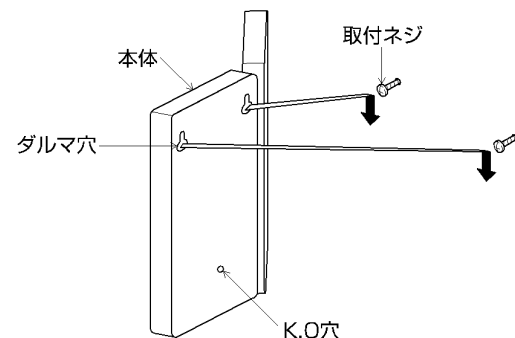
1 本体を取付ける

①壁面に取付ピッチガイドをあて、取付ネジ(2本)の頭と壁面との間が約4mmになるまで取付ける。

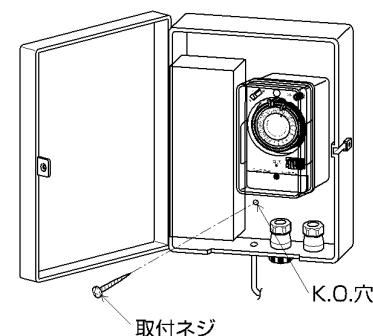


②本体裏側のダルマ穴を壁面の取付ネジに合わせて本体を引っ掛ける。

※K.O穴を使用される場合は本体を取付ける前にK.O穴を開けておいてください。



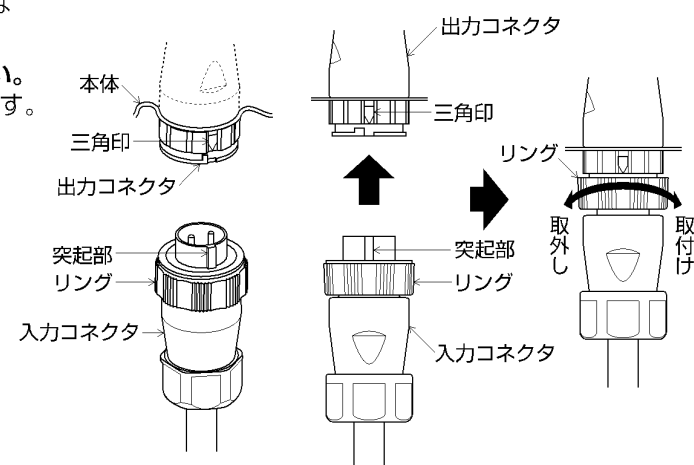
③K.O穴を使用される場合は、K.O穴に取付ネジを締め付けて本体を確実に取付ける。



2 コネクタを接続する

別売器具または別売オプションの入力コネクタの突起部を出力コネクタの三角印の位置に合わせて差し込み、リングを回して確実に固定する。はずす時はリングをゆるめて抜く。

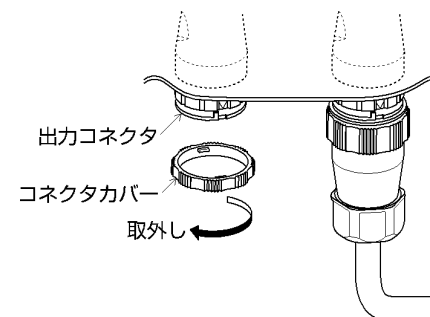
△ 警告 コネクタの接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



<2口目を使う場合>

コネクタカバーを左に回して出力コネクタから取外し、別売器具または別売オプションの入力コネクタを接続する。

△ 警告 使用しない出力コネクタにはコネクタカバーを取付けておいてください。火災・感電の原因になります。



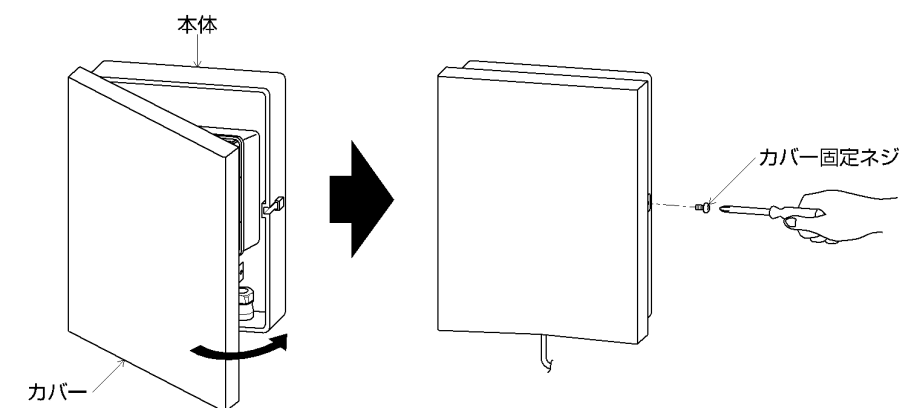
3 タイマースイッチを設定する

P6■タイマースイッチの設定方法を参照し、タイマースイッチを設定する。

4 カバーを閉じる

カバーを閉じて、カバー固定ネジを+ドライバーでしっかり締める。

※カバー固定ネジの締付トルクは0.8N・m以上で締めないでください。締付トルクが適正値を超えると、カバーが破損します。



5 差込プラグを接続する

防水コンセントに差込プラグを差し込む。



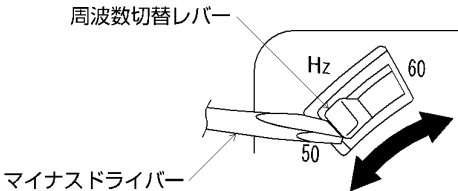
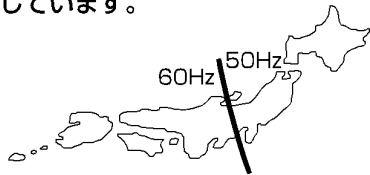
6 点灯の確認を行なう

■タイマースイッチの設定方法

周波数の合わせかた

●マイナスドライバー(先端幅6mm以下)で周波数切替レバーを地域の電源周波数に合わせる。

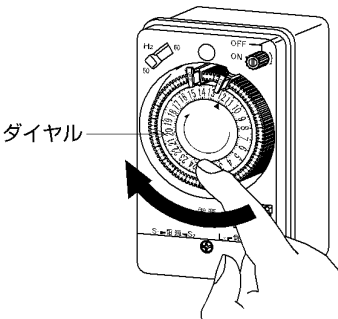
※出荷時は50Hzにセットしています。



現在時刻の設定

●ダイヤルを矢印方向(右)に回して現在時刻表示の(▲)にダイヤルの目盛りを合わせる。

※ダイヤルは必ず矢印方向に回してください。無理に逆転させると故障の原因になります。



動作時刻の設定

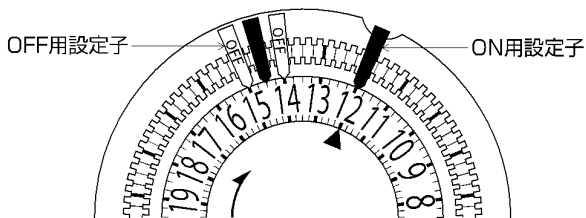
設定した時刻に照明器具が点灯または消灯します。

●設定子をダイヤルの希望時刻の目盛りに差し込む。
ONさせたい時刻には(オレンジ色)、OFFさせたい時刻には(白色)の設定子を差し込む。
(設定子は、ON用・OFF用、各3本付属しています。)

※設定子は必ず、確実に奥まで差し込んでください。
また、ON用・OFF用の設定子を交互にセットしてください。

〔例〕下図の場合

- ・12時に「入」 14時に「切」
- ・14時30分に「入」 15時に「切」



ON・OFF切替ツマミの設定

ON・OFF切替ツマミの状態を確認することで現在タイマースイッチがONかOFFかを知ることができます。

●ON・OFF切替ツマミは設定子に連動して切替わり、タイマースイッチがON・OFFします。

●ON・OFF切替ツマミを回すことにより、タイマースイッチのON・OFFを手動で切替えできます。

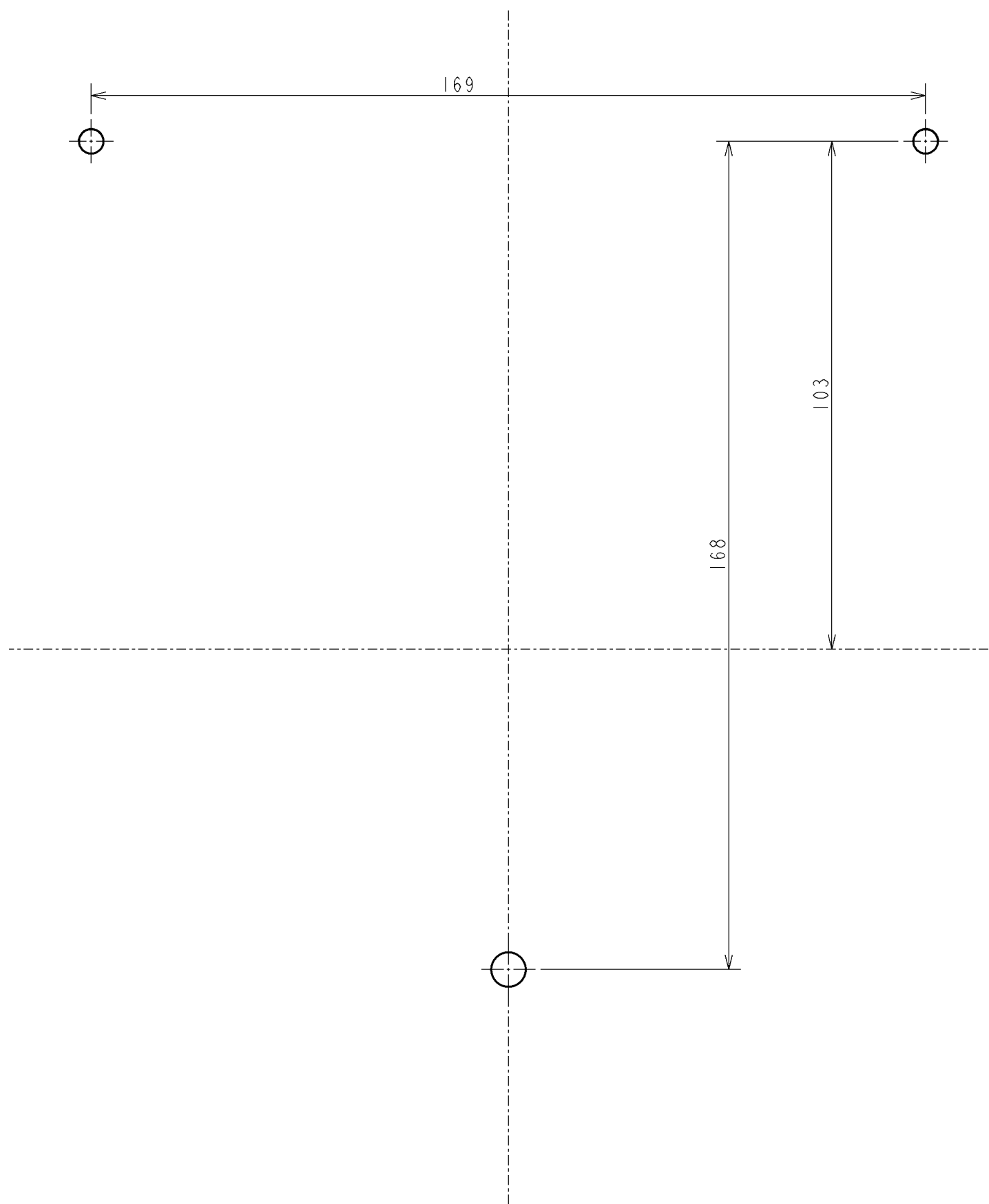
※ON・OFF切替ツマミは必ず矢印方向に回してください。また、設定子が現在時刻(▲)の前後1時間以内にある場合は、ON・OFF切替ツマミを操作しないでください。
故障の原因になります。

※長期間連続してONまたはOFFする場合は、すべての設定子をダイヤルから取外して、ON・OFF切替ツマミでONまたはOFFにセットしてください。



■部品のお手入れ △注意 部品のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 部品の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。



取付ピッチガイド

Z796-017